

定例市長記者会見録

日 時：8月27日(金) 午後1時～1時30分

場 所：本庁舎6階特別会議室

出席者：一宮市 中野市長、福井副市長

報道機関 朝日新聞、中日新聞、毎日新聞、読売新聞、中部経済新聞、共同通信

本日の案件は3つです。

1番目は「5Gアンテナ基地局設置ワンストップ窓口を開設」です。昨年11月に「消防・救急分野における5G実証実験」を行いました。しかし、ちまたで言われていることですが通信事業者各社とも料金の値下げが財務内容に影響しているのか、設備投資が進まず、5Gアンテナ基地局の数が思ったほどは増えていない状況です。そこで、土地や建物といった市が所有する施設の情報を市ウェブサイト上で公開し、各通信事業者が効率的に基地局を設置できるよう、取り組むものです。本日、「5Gアンテナ基地局設置ワンストップ窓口」を開設し、市ウェブサイト上にオープンデータとして情報を公開します。通信事業者による設置場所の競合を見越し、申し込み期間をいったん10月15日までとし、調整を行うことにしています。この取り組みは、愛知県が今年5月17日から県内市町村に実施を呼びかけているもので、本市は他市町村に先駆けて実施します。市による実施としては全国でも3番目、東海地区では初の取り組みとなります。

2番目は「キャッシュレス決済ポイント還元事業3決済サービスで実施」です。今年2月に実施した事業を、今年度は期間を1カ月から合計2カ月に、決済事業者を1社からau PAY、d払い、PayPayの3社に増やし、再度、実施します。2月は最大手のPayPay1社で約3,000店舗を対象に実施しました。決済額は約9億円で前月比約2.5倍、利用者も1.3倍となり好評をいただき、キャッシュレス化へ向け大いにはずみがつきました。一方で、市民の皆さまから他社の決済事業者も利用したいという声を多くいただきましたので、今年度は県内では初となる、3社で実施とします。

3番目は「令和3年度9月補正予算(案)に計上された主な事業」です。

No.1「ワクチン接種事業の推進」

ワクチン接種に係る経費を増額します。本日から、市内の協力医療機関での予約を再開しました。約21,000人分の予約枠がありますので、予約が円滑に進むことを期待しています。

No.2「路線バスを利用する高齢者に対する支援」

名鉄バスの高齢者向け定額制フリーパスを、1カ月分につき500円引きで購入できるよう、市が一定金額を負担する事業です。昨年度に引き続き、今年度も実施します。

No.3「まちなかウォークブル推進事業における感染対策」

本町通・葵公園といったエリアにベンチなどを設置します。また、一昨年に歩道を広く改修した銀座通りエリアにも可動タイプのベンチやいすを設置し、にぎわいを創出します。100周年記念事業と合わせ、交通規制もしながら歩いて楽しいまちづくりに取り組みます。

No. 4「公民館の空調施設改修 事業費の増加」

老朽化が進む公民館の、換気の悪い密閉空間を改修するための予算です。

No. 5「地域新電力会社の設立準備」

地域新電力会社の設立は、脱炭素社会に向け、政府が来年度予算で力を入れてくる分野と見込まれます。その前段階として、専門家からアドバイスをいただくための予算です。市では、ごみの焼却により発生した熱エネルギーで発電を行っており、隣接する施設の電力を賄い、余剰電力は電力会社に売電をしています。これらを更に有効に活用できないかなど、本市として取り組める内容を模索していきます。

No. 6「損害賠償請求事件に係る和解金など」

弁護士委託料と和解金です。

No. 7「旧林氏庭園などの改修」

尾西信用金庫からの寄付を活用し、水琴窟の1つを修繕します。

No. 8「美術館での特別展に関連した特別番組の制作」

「三岸夫婦が出会って100年」を記念し、テレビ局とタイアップしてキャンペーンを行うための予算です。

以上、本日の説明でございます。

質疑応答の概要

一宮市議会 9月定例会

■損害賠償請求事件に係る和解金など

(記者) 昨日の議会運営委員会で、和解の条項などについても説明されたのですか？

(市長) はい、説明しました。

■緊急事態宣言とワクチン接種についての市長メッセージについて

(記者) ワクチン接種の予約について、民間のクリニックにまた協力頂けるということでした。一宮市では7月下旬から新規の予約が取りにくい状況となっており、SNS上には「サイトにはなかなか繋がらない、繋がっても予約で埋まっている」や「コールセンターでは、8時30分から午後5時までずっと電話しても繋がらない」と、いう書き込みがありました。また「他市はこのような状況はない」などの書き込みもあり、私自身もそのように思いました。なぜ、このようなことになったのでしょうか？

(市長) 5月からワクチン接種を開始しました。政府から7月末までに65歳以上の高齢者の7割への接種を終わらせるよう厚生労働省だけでなく総務省からも指示があり、それに向けて取り組みました。その効果もあり65歳以上の方の接種が非常に多く、現在VRSで確認すると9割以上の方が打たれています。

ワクチンは潤沢に供給された時期もありましたが、7月からワクチンの供給量が極端に少なくなりました。7月後半になると、65歳以上の高齢者を中心に接種する機会は概ね終わり、対象者が多くなる64歳以下の方の順番になっていましたが、供給されるワクチンが少なくなったため予約が非常に取りづらい状況になりました。

他の地域と比べて、一宮市が更に取りづらかったと感じられたのは、2つ要因があると思います。一つは、大規模接種会場が一宮市を含め西尾張にはないことです。名古屋市を含め三河地区では数カ所ありましたが、尾張では東尾張の名古屋空港会場の1カ所だけです。愛知県知事も西尾張に大規模接種会場を設けようとしてくださいましたが、6月に国から大規模接種会場や職域接種は、これ以上対応できないと言われ実現しませんでした。西尾張で人口40万近い一宮市は県の助けを頂けないエリアになってしまいました。その後、名古屋空港会場での接種を要請し、8月から実現しました。これを市民の皆さまに接種枠をお知らせしたところ、すぐに接種枠が予約で埋まりました。今後も県に接種枠を頂けるよう要請して、予約の取りづらい状況を緩和していきたいと思います。しかし大規模接種会場がないことで、大きな影響を受けています。

もう一つは、職域接種が少ないことです。三河地区では、大企業や大工場があり、職域接種を行っています。一宮市ではその数が半数程度です。一宮市では、県が行っている大規模接種会場や職域で接種される方が少なかったことが、木曽川体育館や一宮西病院などの市の特設会場への予約が集中し予約が取りづらい状況になった要因だと思います。

(記者) 他の自治体では、民間のクリニックで7~8月も予約が取れる状況でした。一宮市では、木曽川体育館や一宮西病院にワクチンが集中したことが、民間のクリニックで予約できなかった理由ではないのですか？

(市長) 民間のクリニックへ十分に供給できるだけのワクチンを頂けていませんでした。

(記者) 厚生労働省のウェブサイトにある「コロナワクチンナビ」で接種可能な民間のクリニックを確認すると、先週、先々週はほとんどありませんでした。しかし、人口規模が同等の他市では接種可能なクリニックが多数ありました。他の自治体でも供給されるワクチンは少なかったのですから、なぜ一宮市だけが接種可能な民間のクリニックが少なかったのですか？

(市長) 県の大規模接種会場や職域での接種状況が大きく違うことが影響していると考えます。

(記者) 一般のクリニックへもう少しワクチンを分配していたら、市民の方が希望される場所で接種できる選択肢が増えたのではありませんか？

(市長) 医師会とワクチン接種について協議しました。その結果、必要量が予定通りに供給されれば協力できるが、予定通りの供給がされず調整が必要になるような可能性があれば対応は困難であるとの結論に達しました。そのため、予定通りの供給がな

い場合のリスクは行政が負い、7月後半から8月にかけては少ないワクチンで対応してきました。

(記者) 昨日のメッセージの最後に、ワクチンの接種可能回数が増えてきたと記載がありますが？

(市長) 県知事には一宮市の窮状や、最小限のワクチンの在庫で対応していることをご理解いただいています。その結果、県の調整枠で一番多くのワクチンを配分いただき、民間のクリニックへ十分な供給が可能となったので、9月6日からの接種で再びご協力頂けることになりました。

■小中学校の2学期の開始について

(記者) 小中学校の夏休み明けの対応は、どのようにお考えですか？

(市長) 学校についての対応は、コロナ陽性者数も増えており最も苦慮しています。県内では2学期が始まっている学校もありますので、教育委員会同士で情報交換し最終的にどうするか検討します。

(記者) 方針はいつ発表されるのですか？

(市長) 方針は概ね固まっていますが、陽性者数を注視していますので、直前になります。8月の小中学生の陽性者数は、60名を超えています。過去の小中学生の陽性者数を確認すると、お盆やゴールデンウィーク、お正月を過ぎたころに陽性者数が大きく増えています。これは、大人と一緒にいた時期に陽性者が増えていると見ています。感染経路の9割以上は、一緒にいた大人からの感染となっています。お盆のころに人の移動がありましたので、その影響の推移を見ています。

(記者) 名古屋市のように、午前中だけの授業にはされないのですか？

(市長) 陽性者が出たのは、61小中学校の内30校です。今の段階で、市内全校に一斉休校等の一律の対応を行う状況ではないと思います。

(記者) 小学校でWi-Fi環境の有無についてアンケートをされていますが、オンライン授業を想定されての事ですか？

(市長) はい、そうです。

(記者) 全ての小中学生1人1台にパソコンが用意されるのは、9月中の予定でしたね？

(市長) 市内全ての小中学生に配備できるのは、9月中です。自宅にWi-Fi環境がなくても使用できる貸し出し専用のパソコンは、数百台ありますので学級閉鎖や学年閉鎖には対応できます。

■市制施行100周年について

(記者) 9月1日で市制施行100年になりますが、一宮市の今の課題と将来像についてお聞かせください？

(市長) 100周年のタイミングで中核市となり、3年前から準備をして保健所を持つこととなりました。100歳をお祝いするだけでなく、100歳となり次のステージで、市が

市民の皆さまの健康と暮らしに責任を持つ体制を作りました。コロナ対応だけでなく、コロナ感染拡大の収束後も、市民の皆さまの健康と暮らしに責任を持っていく取り組みをしていきたいと思います。キーワードはデジタルだと思います。パーソナルヘルスレコードと言われるように、病気になる手前で幸せに健康に生活していけるように、中核市になった一宮市ならではの取り組みを行い、住みやすく暮らしやすいまち、人口も減少せず人を呼び集められる地域を目指します。

(記者) これからの課題についてお聞かせください？

(市長) 大きな課題としては、少子化です。出生数は一昨年までは、3,000人程度でしたが、去年は2,700人台まで減少しました。今年も統計を取っていますが、このままだと2,000人台前半まで落ち込む可能性があります。少子化というのは、若い世代が未来に希望を持ってないことへの裏返しなのかもしれません。大府市のように出生率が増加傾向の地域もありますので、学んでいきたいと思っています。